



サイバークリーナー

Cyber Cleaner[®]



“出口対策”で情報流出をストップ

内部からの通信(メールの添付ファイルの開封、不正サイトへのアクセス等)によって不正プログラムに感染させる標的型攻撃は、ウイルス対策だけでは防御できません。「Cyber Cleaner」は、疑わしい通信を検知し、内部から外部への不正な通信を遮断(出口対策)することで、情報の流出を防止します。



“入口対策”でサービス不能リスクを回避

パケットのヘッダ情報により、DDoS攻撃のネットワーク内部侵入を遮断。DDoS攻撃によるサーバダウンを防止することで、業務を停止せざるを得ない“サービス不能リスク”を回避します。



“国別フィルタ”で不正通信を遮断

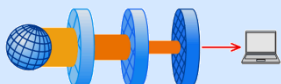
標的型メール攻撃に使用された不正プログラムの接続先の97%が海外。※業務上通信するはずのない国を選択するだけで、その国との通信を遮断するため、リスクが軽減されます。※H26.2.27 警視庁発表資料より

Firewallの『外』で守る、セキュリティの新しい形

Cyber Cleaner はルータの外部に設置可能。IPを持たないためステルス性が高く、攻撃者から発見されません。サービス不能攻撃の対象になりやすい行政サービスやネットショップなどの公開サーバを守る“入口対策”や、標的型攻撃などによる内部からの重要情報漏洩に繋がる不正な外部通信を遮断する“出口対策”が可能なソリューションです。

特長

3重のフィルタでブロック




- 基本フィルタ：ポート・プロトコル単位の基本的なフィルタ
- 国別フィルタ：IP・地域・国別単位での個別フィルタ
- リアルタイムフィルタ：国立研究機関のシグネチャ

優先順位：基本フィルタ → 国別フィルタ（ホワイトリスト → ブラックリスト） → リアルタイムフィルタ

※国別フィルタでブロックしている国でも、ホワイトリストへの個別IP登録で通信は可能。

通信の可視化と制限




意識していない国と通信が発生している！

この国とは、取引していないはずなのに…

チェックだけでパケットを完全ブロック

その国のパケットを監視対象にするかチェックするだけ

直観的なGUIで簡単運用



視覚的な情報把握が可能

国産ならではの日本語GUIで分かりやすい

ブラウザから簡単アクセス
専用の運用端末は不要

- 3重のフィルタでブロックすることで、ルータやFirewallへの攻撃を遮断（※）し通信環境を浄化。
 - 通信パケットを可視化することで“現状の把握”と認識されていなかった“潜在的な脅威”の早期発見が可能。
- ※ メーカー調査結果：外部300万パケットの内、有害なパケットである約80%を遮断)

法人、自治体の 多重防御 における導入イメージ

